

むずかしく考えていませんか？

令和7年度



二酸化炭素排出抑制
対策事業費等補助金
(浄化槽システムの脱炭素化推進事業)

公益社団法人北海道浄化槽協会

補助事業の概要

目的

エネルギー効率の低い既設の**中大型浄化槽**について、最新型の**高効率機器**（高効率ブロワ等）への**改修**、**先進的省エネ型浄化槽**への**交換**、**再生可能エネルギーを活用した浄化槽システムの導入**を推進することにより、**大幅なCO2削減**を図ることが目的。

予算規模 18億円

補助事業の実施期間

2022年度（令和4年度） から **2026年度（令和8年度）** まで

※2025年度は 4月21日から11月28日

補助金額、補助率

補助対象事業の「**総事業費**」の**2分の1**

執行団体（2025年度）

一般社団法人 全国浄化槽団体連合会（**全浄連**）

申請者の要件

※下記に該当し、全ての必要書類を提出できる浄化槽所有者が対象となります。

- ・民間企業（個人事業主を含む）
- ・独立行政法人（国立大学法人、公立大学法人を含む）
- ・一般社団法人、一般財団法人（公益法人を含む）
- ・都道府県、市町村、特別区及び地方公共団体の組合
- ・地方自治法第260条の2第1項に基づき認可を受けた地縁による団体
- ・集合住宅・住宅団地等の自治会・管理組合など（任意団体を含む）
- ・学校法人、医療法人、社会福祉法人など
- ・法律により直接設立された法人
- ・過去に交付規程に違反したことがない者
- ・その他環境大臣の承認を経て全浄連が認める者



交付対象となる事業 その1

1

最新型の高効率機器への改修事業

- 30人槽以上の既設合併処理浄化槽に付帯するブロワやポンプ等の電動機器を、最新型の高効率機器に入れ替えるほか、運転時間を効率的に削減するなどして、年間消費電力量 (CO₂排出量) を20%以上削減する改修事業



交付対象となる事業 その2

2 先進的省エネ型浄化槽への交換事業



- 30人槽以上の既設合併処理浄化槽から最新の省エネ型浄化槽へ交換することによって、年間消費電力量 (CO₂排出量) を46%以上削減する交換事業
- 処理対象人員を減らして浄化槽を小型化することによって消費電力を削減することも対象になるので、学校など児童・生徒数が減少している施設などは特に有効



交付対象となる事業 その3



3 再生可能エネルギー設備の導入事業

- 上記(1)又は(2)の事業と併せて実施する再生可能エネルギー(太陽光発電など)の導入事業
- 再生可能エネルギー設備は(1)又は(2)の事業により改修又は交換した浄化槽で必要とされる電力量を賄うもので、平時及び災害時にその浄化槽で自家消費することが可能なものであること。
- その他導入のための要件が定められていますので、詳細は(一社)全国浄化槽団体連合会にお問い合わせ下さい。



二酸化炭素削減効果計算表 ((1)機器改修事業)

- 必要な項目を入力すると年間消費電力などは**自動計算**されます。
- **モーター出力**などは全浄連が一覧表を作成しているの**簡単に確認**できます。

事業	② この欄にはどのような機器を既設何台の内、何台を更新するのか記す。
-----------	------------------------------------

事業前における 当該機器の運転状況		この欄には各機器が何台でそれぞれ年間を通じて1日換算何時間の運転をしているのか 実際の状況を記す。											
事業対象機器		モーター 出力		台数		1台当たりの年間の運転時間(h/年)				※モーター効 率か負荷率か、 どちらか(ある いはその両方 か)記す		年間消費 電力量	
メーカー	型式					1台当たりの日平 均運転時間		1台当たりの年 間運転日数					
		kW	×	×	×	h/日	×	365	日/年	×	/	=	kWh

事業後における 当該機器の運転予定		この欄には各機器が何台でそれぞれ年間を通じて1日換算何時間の運転を行うことにな るかを記す。											
		kW	×	×	×	h/日	×	365	日/年	×	/	=	kWh

削減できる 年間消費電力量	kWh
------------------	-----

二酸化炭素削減効果計算表 ((1)機器改修事業)

○ 先ほどの表に入力すると**自動計算**されます。

<table border="1"> <tr> <td>事業によって削減できるCO₂排出量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0.0</td> <td>t-CO₂</td> </tr> </table>	事業によって削減できるCO ₂ 排出量		0.0	t-CO ₂	=	<table border="1"> <tr> <td>事業によって削減できる年間消費電力量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0.0</td> <td>kWh</td> </tr> </table>	事業によって削減できる年間消費電力量		0.0	kWh	+	<table border="1"> <tr> <td>事業によって発電できる年間電力量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0.0</td> <td>kWh</td> </tr> </table>	事業によって発電できる年間電力量		0.0	kWh	×	<table border="1"> <tr> <td>二酸化炭素排出係数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0.0005</td> <td></td> </tr> </table>	二酸化炭素排出係数		0.0005	
事業によって削減できるCO ₂ 排出量																						
0.0	t-CO ₂																					
事業によって削減できる年間消費電力量																						
0.0	kWh																					
事業によって発電できる年間電力量																						
0.0	kWh																					
二酸化炭素排出係数																						
0.0005																						
<table border="1"> <tr> <td>事業対象機器にかかる事業前のCO₂排出量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0.0</td> <td>t-CO₂</td> </tr> </table>	事業対象機器にかかる事業前のCO ₂ 排出量		0.0	t-CO ₂	=	<table border="1"> <tr> <td>事業対象機器にかかる事業前の年間消費電力量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0.0</td> <td>kWh</td> </tr> </table>	事業対象機器にかかる事業前の年間消費電力量		0.0	kWh	×	<table border="1"> <tr> <td>二酸化炭素排出係数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0.0005</td> <td></td> </tr> </table>	二酸化炭素排出係数		0.0005							
事業対象機器にかかる事業前のCO ₂ 排出量																						
0.0	t-CO ₂																					
事業対象機器にかかる事業前の年間消費電力量																						
0.0	kWh																					
二酸化炭素排出係数																						
0.0005																						
<table border="1"> <tr> <td>CO₂排出量の削減率</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>%</td> </tr> </table>	CO ₂ 排出量の削減率			%	=	<table border="1"> <tr> <td>事業によって削減できるCO₂排出量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0.0</td> <td>t-CO₂</td> </tr> </table>	事業によって削減できるCO ₂ 排出量		0.0	t-CO ₂		<table border="1"> <tr> <td>事業対象機器にかかる事業前のCO₂排出量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0.0</td> <td>t-CO₂</td> </tr> </table>	事業対象機器にかかる事業前のCO ₂ 排出量		0.0	t-CO ₂						
CO ₂ 排出量の削減率																						
	%																					
事業によって削減できるCO ₂ 排出量																						
0.0	t-CO ₂																					
事業対象機器にかかる事業前のCO ₂ 排出量																						
0.0	t-CO ₂																					



※ 削減率も自動計算されるので簡単です。
 ※ 20%以上であれば交付対象となります。

最新型高効率機器（ブロワ）への改修事業(1/3)

事業概要

曝気ブロワ2台、調整ブロワ2台、汚泥引き抜きポンプ1台更新
更新した曝気ブロワ2台はタイマーを導入して運転時間を調整

対象浄化槽

処理対象人員 2, 240人（構造型）
使用開始 2001年10月

事業費

総事業費 約1,700万円（1/2補助）

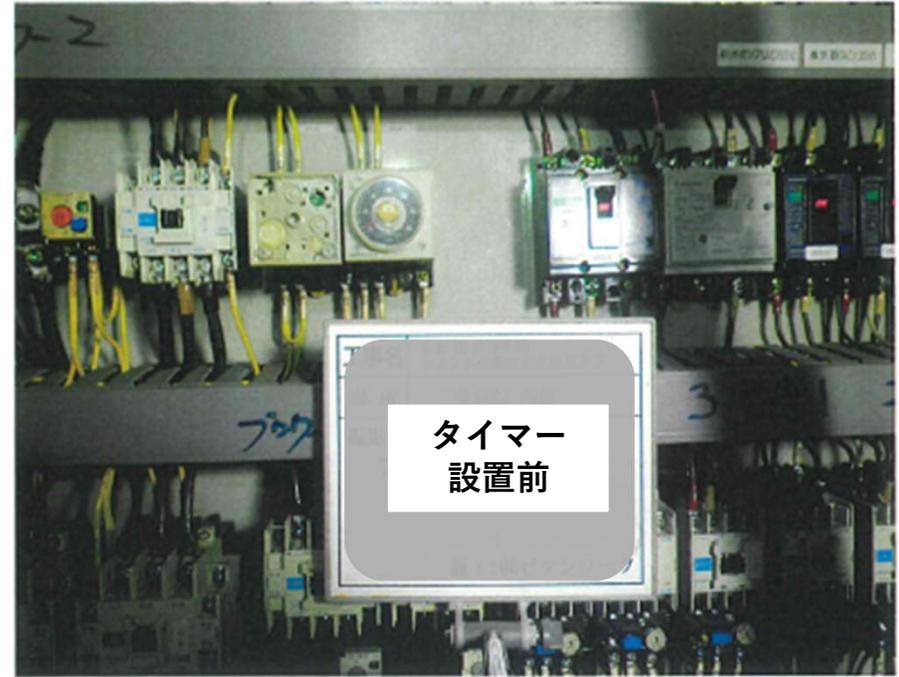
事業効果

CO₂削減率 22.8%

事業事例② 最新型高効率機器（ブローア）への改修事業(2/3)



事業事例② 最新型高効率機器（ブロア）への改修事業(3/3)



最新型高効率機器（ブロワ）への改修事業(1/3)

事業概要

曝気ブロワ1台、調整ブロワ1台更新

更新した曝気ブロワはタイマーを導入して運転時間を調整

対象浄化槽

処理対象人員 348人（西原ネオ）

使用開始 1992年7月

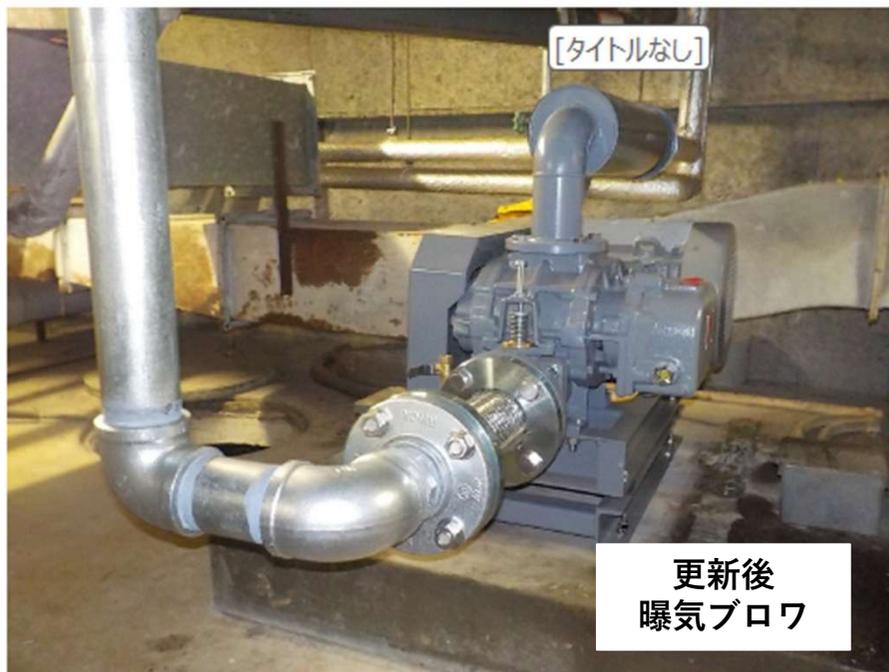
事業費

総事業費 約400万円（1/2補助）

事業効果

CO₂削減率 22.0%

事業事例② 最新型高効率機器（ブローア）への改修事業(2/3)



事業事例② 最新型高効率機器（ブローア）への改修事業(3/3)



タイマー

最新型高効率機器（ブロワ）への改修事業(1/3)

事業概要

曝気ブロワ2台、調整ブロワ②台更新

更新した曝気ブロワ2台はタイマーを導入して運転時間を調整

対象浄化槽

処理対象人員 756人（構造型）

使用開始 1991年9月

事業費

総事業費 約270万円（1/2補助）

事業効果

CO₂削減率 22.0%

事業事例③ 最新型高効率機器（ブローア）への改修事業(2/3)



事業事例③ 最新型高効率機器（ブローア）への改修事業(3/3)



全国の事例 その1 (先進的省エネ型浄化槽への交換) 1/2

実流入負荷に見合ったコンパクト型浄化槽への入れ替え

項目	既設浄化槽	新設浄化槽
処理対象人員	98 人	25 人
浄化槽処理方式	接触ばっ気方式 (+流量調整槽)	担体流動循環方式
使用電動機器数	計10台 ブロワ3台、水中ポンプ6台 スクリーン1台	計6台 ブロワ2台、水中ポンプ4台
年間消費電力量	21437.1kWh/年	3905.5 kWh/年
エネルギーコスト削減額	20 万6千円/年	
CO ₂ 排出量 削減率	82.20%	

全国の事例 その1 (先進的省エネ型浄化槽への交換) 1/2



新設浄化槽 25人槽 搬入



新設ばっ気ブロワ1台、原水攪拌ブロワ1台

全国の事例 その2（再生可能エネルギー設備導入）

太陽光発電設備の設置と浄化槽の入れ替え

項目	既設浄化槽	新設浄化槽
処理対象人員	330人（120m ³ /日）	378人（95m ³ /日）
浄化槽処理方式	長時間ばっ気方式、三次処理方式	膜分離活性汚泥方式
年間消費電力量	108625.1kWh/年	52129.7 kWh/年
再生可能エネルギー設備	太陽電池モジュールおよびリチウム蓄電池	
設備導入による発電量	28400.3 kWh/年	
エネルギーコスト削減額	100万1千円/年	
CO ₂ 排出量削減率	78%	